

# ★実際に出題された海図問題の一例です。

## 航海計画による航程、所要時間の算出

例題1 次のような航海計画を立案した。全航程を16ノットで航行し、D点に15時40分に到着するには、A点を何  
時何分頃に出航すればよいか。下のうちから選べ。ただし、風や海潮流の影響はないものとする。

(試験用海図W200使用)

「出航点A : 川口港南東方海域 松崎灯台を磁針方位005°、南町南東方の鹿崎灯台を磁針方位115°  
に見る地点から磁針路232°で航行

第一変針点B: 秋島北西方の鶴岬灯台を左舷正横に見る地点で磁針路207°に変針

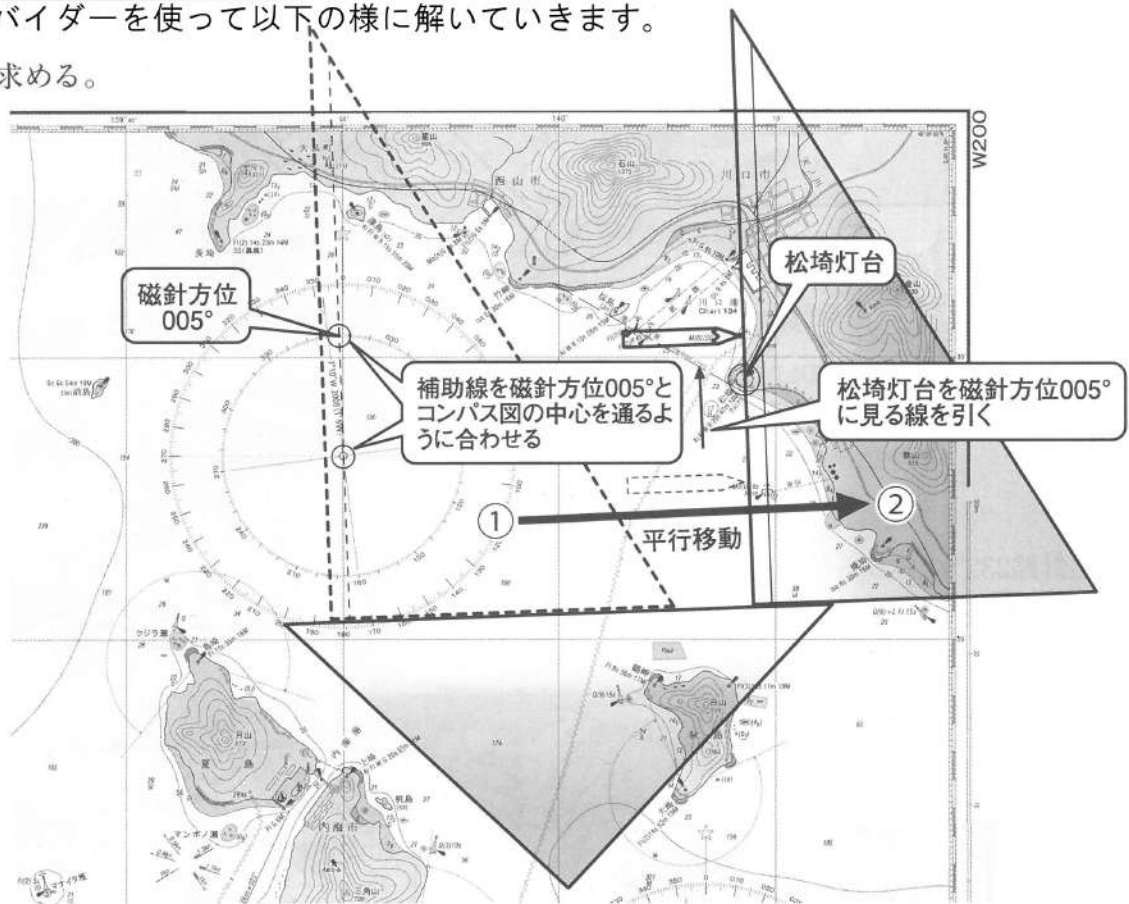
第二変針点C: 春島南東方の馬崎灯台を右舷正横に見る地点で変針

到着点D : 春島南方海域 40° - 04.0' N、139° - 47.4' E

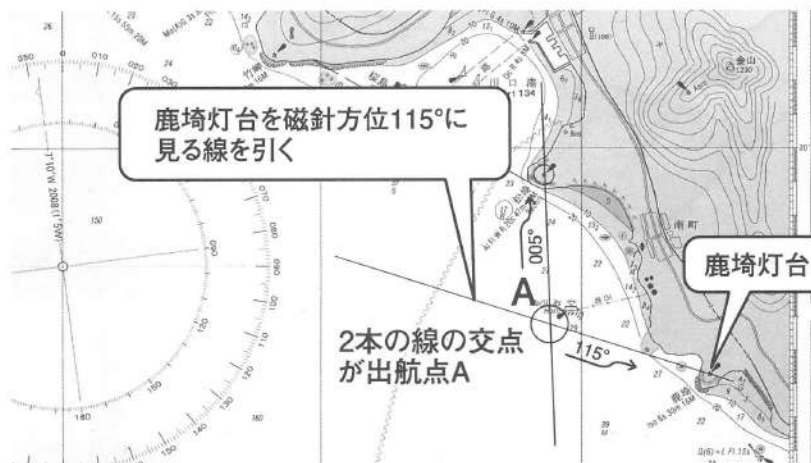
- (1) 13時15分頃      (2) 13時35分頃      (3) 13時55分頃      (4) 14時15分頃

★三角定規、デバイダーを使って以下の様に解いていきます。

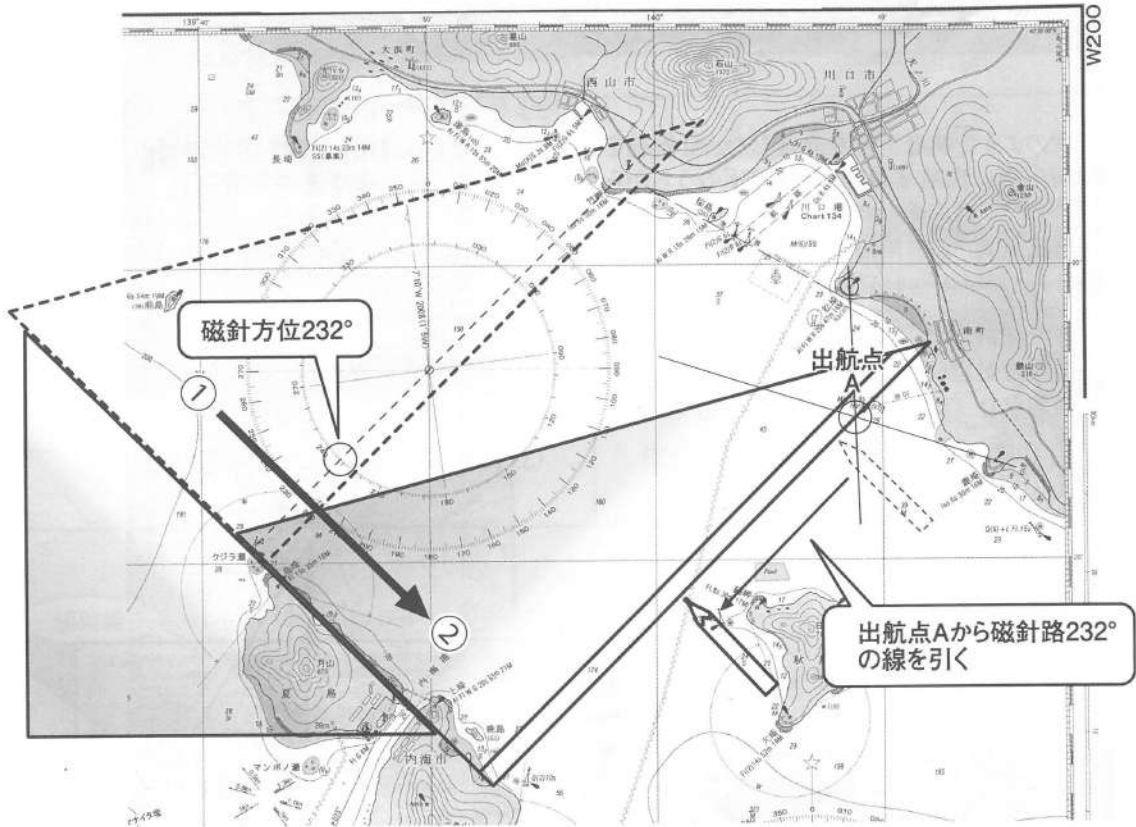
(1) 出航点Aを求める。



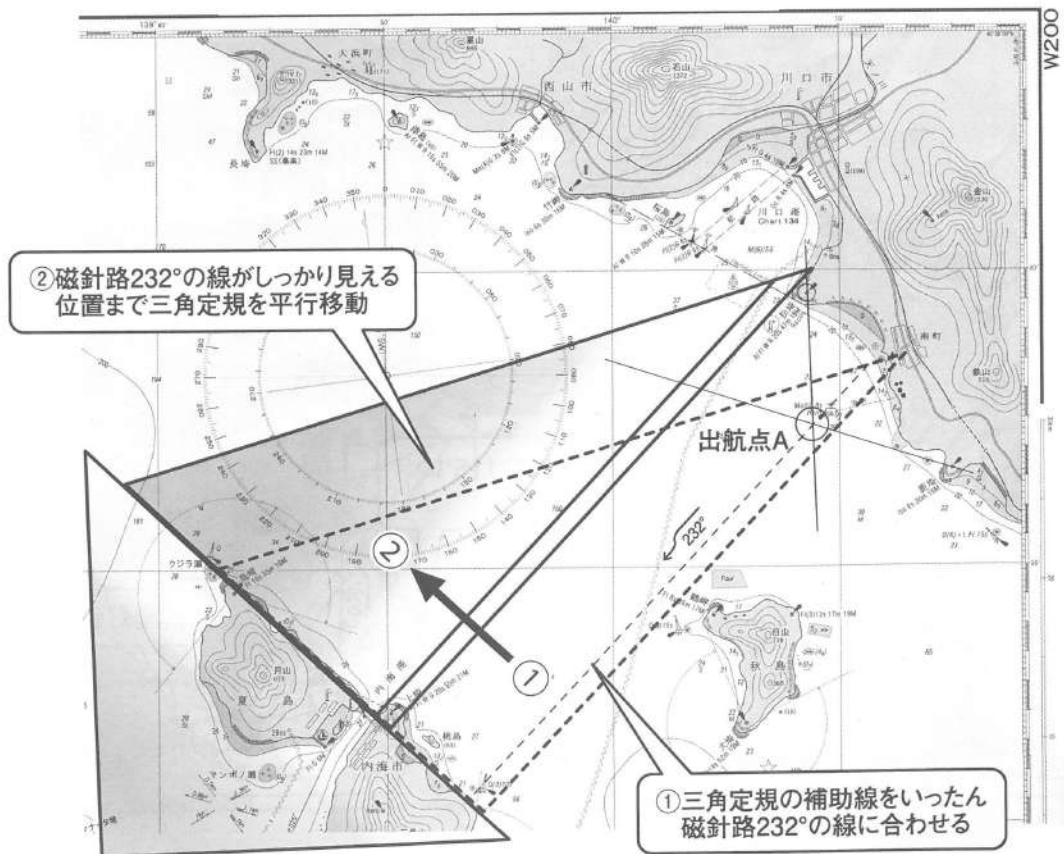
(2)



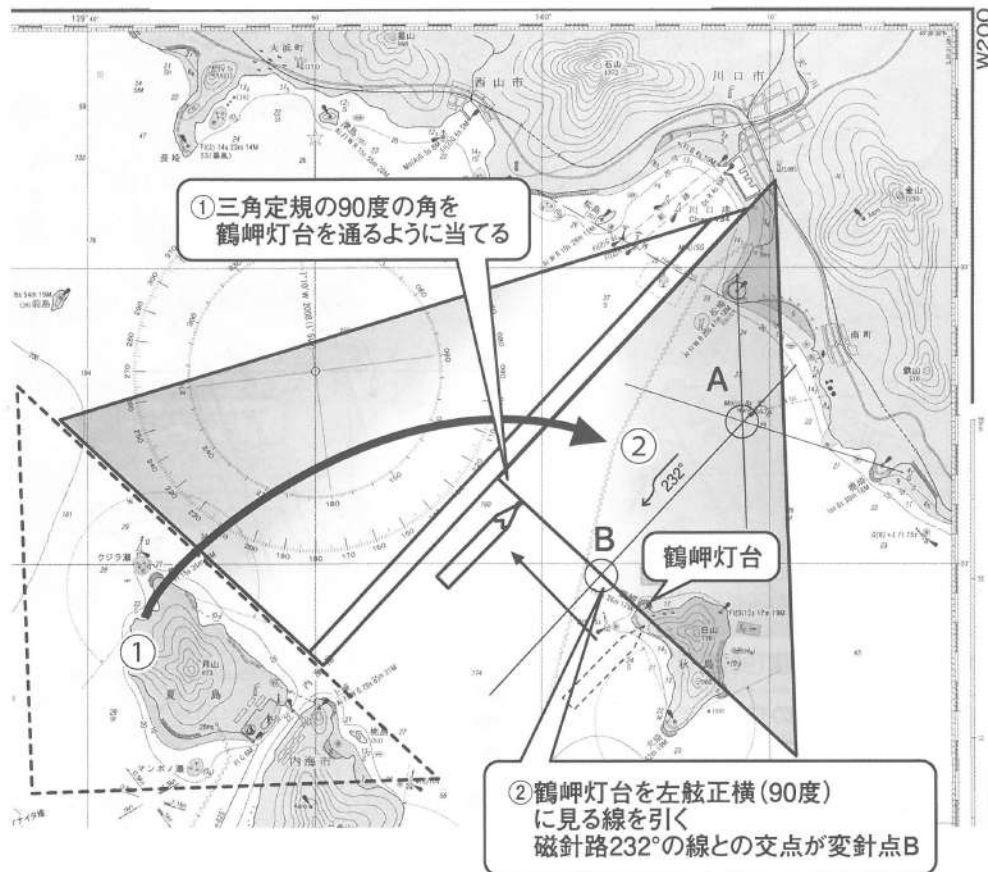
(3)



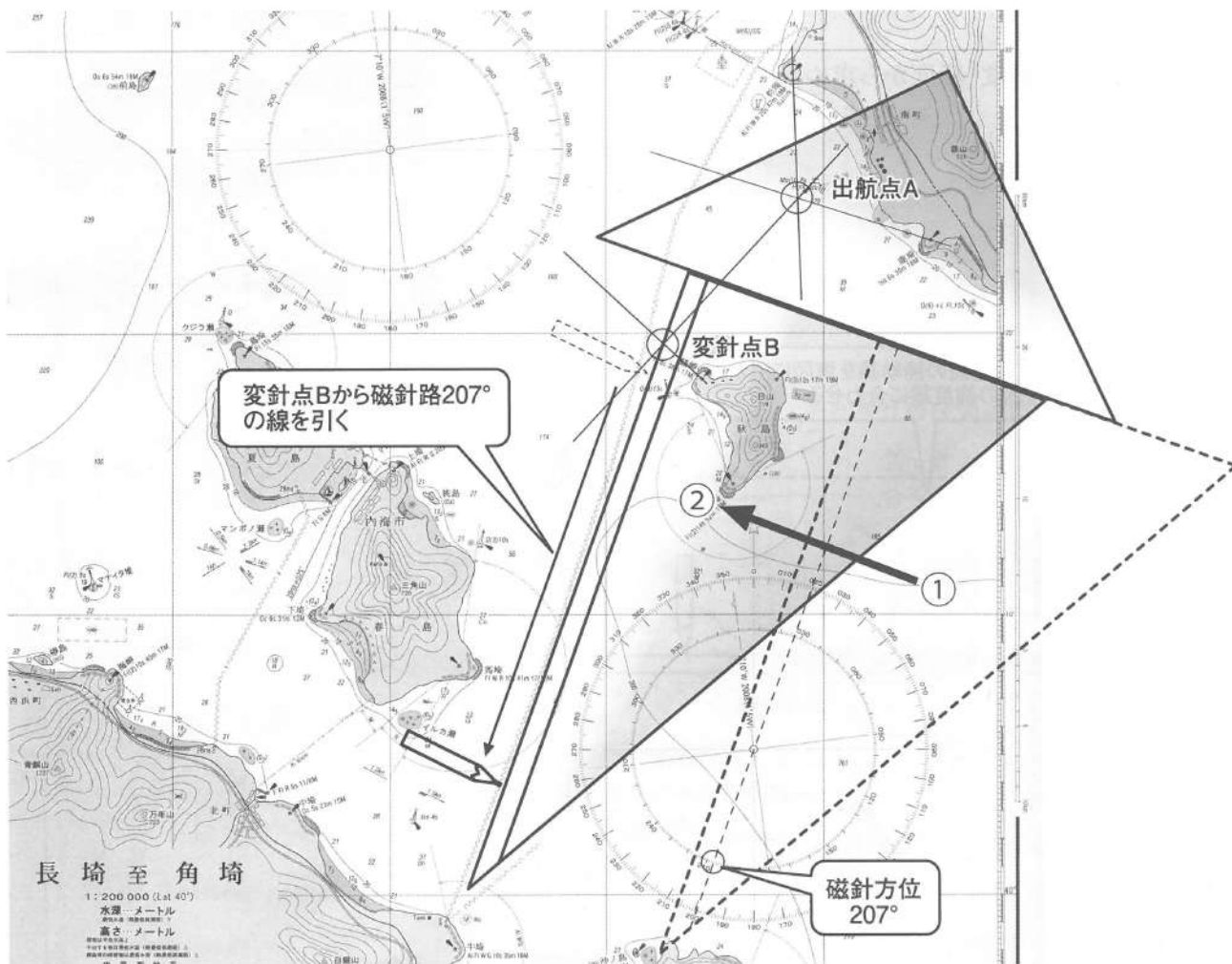
(4) 磁針路232°の線から鶴岬灯台を左舷正横に見る線を引くために…。



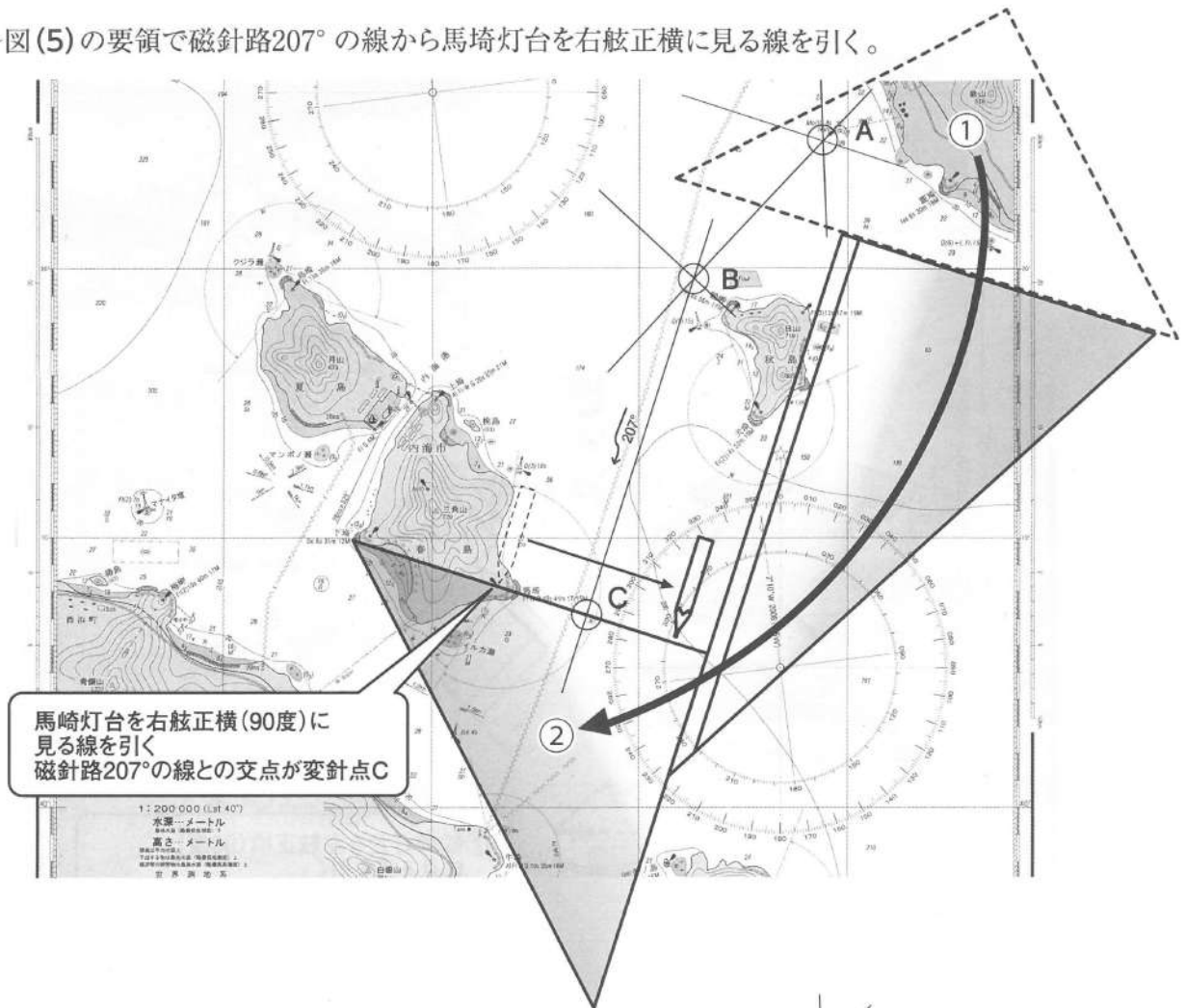
(5) 鶴岬灯台を左舷正横に見る線を引いて、変針点Bを求める。



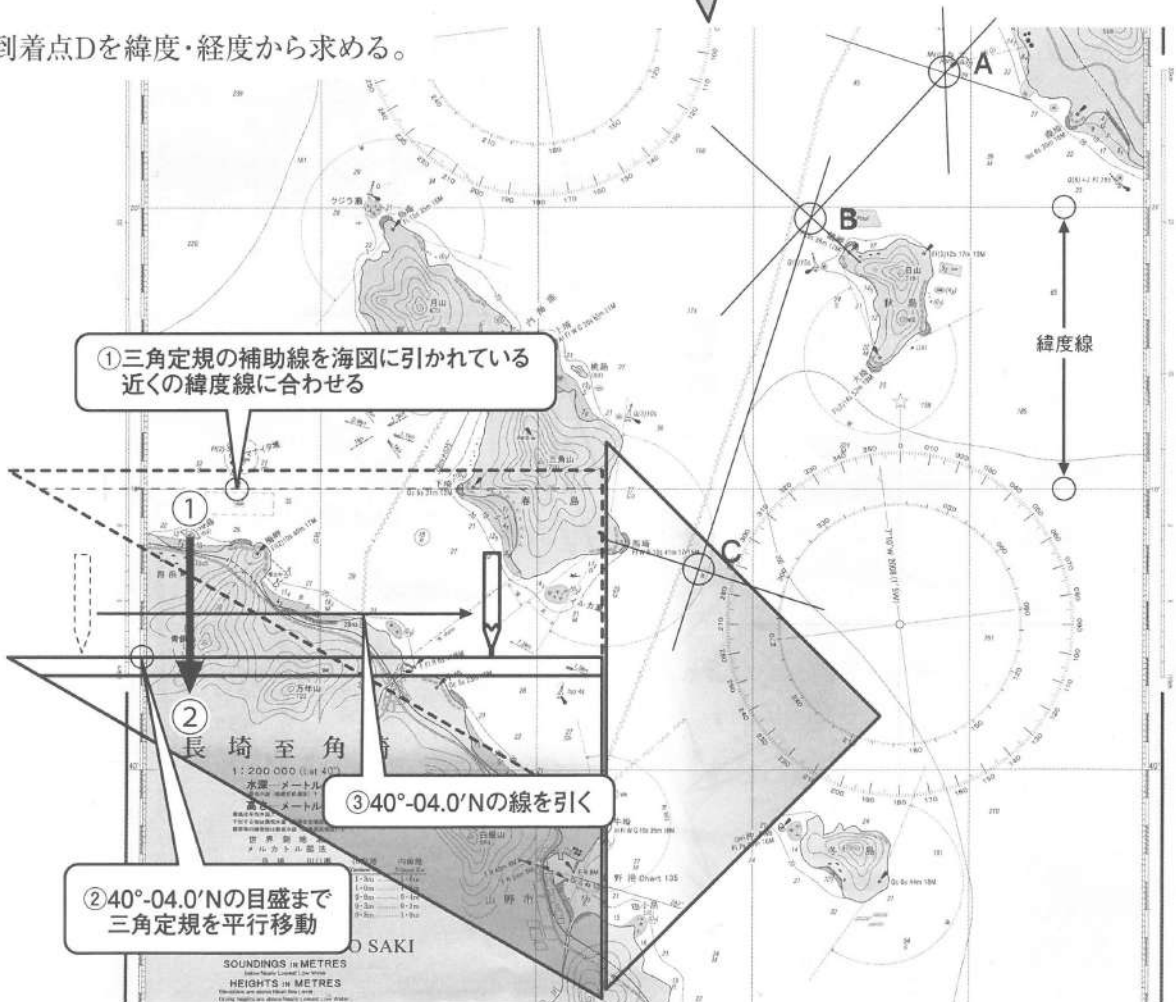
(6)



(7) 図(4)~図(5)の要領で磁針路207°の線から馬埼灯台を右舷正横に見る線を引く。



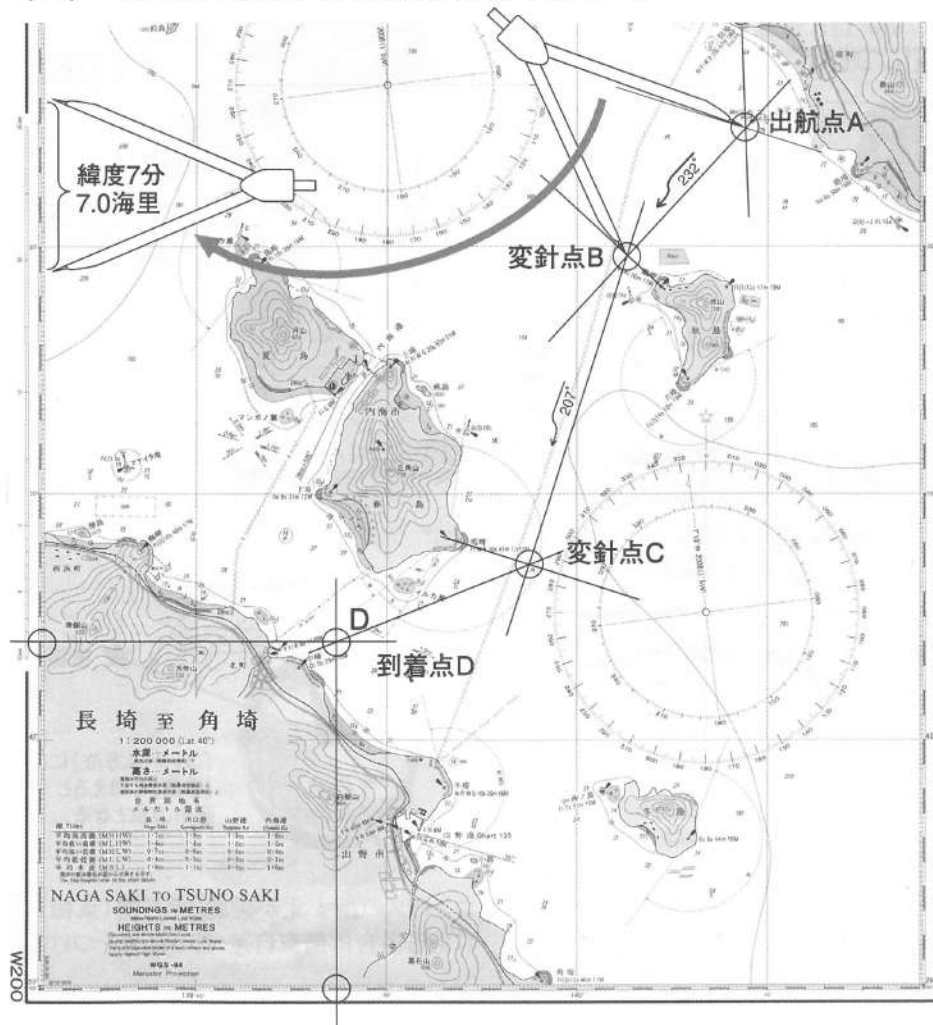
(8) 到着点Dを緯度・経度から求める。



(9) 経度線も図(8)と同じ要領で引き、到着点Dを求める。



(10) 全航程の距離を求め、所要時間を算出する。



それぞれの区間の距離を測定する。

A~B	7.0海里
B~C	13.4海里
+ C~D	7.6海里
合計	28.0海里

全航程28.0海里÷速力16ノット=1.75時間

所要時間 1.75時間=1時間45分  
(0.75時間×60分=45分)

到着時刻 15時40分-所要時間 1時間45分  
= 13時55分 出航時刻

例題1 解答(3) 13時55分頃